

様式第2号（第5条関係）

平成28年 3 月 28 日

出張報告書

栗山町議会議長 鵜川和彦様

栗山町議会議員

藤本光行



このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 平成28年 / 月 24 日 ~ 平成28年 / 月 25 日まで
- 2 旅行先 東京都 (御茶ノ水)
- 3 目的 研修会への参加
- 4 関係書類 別紙のとおり



日 時	平成28年1月 24日 13:30～19:00
視 察 先	自治体学会議員研究ネットワーク研修会
調査事項	研修会参加 表題 みんなで考える議員の資質向上策
対 応 者	江藤俊昭 山梨学院大学教授 (講演) 廣瀬克哉 法政大学教授 (コメンテーター)
1. 視察目的 2. 視察内容 ① 背景 ② 特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提言、課題など)	1 議員の良い資質とは何か？ということ在全国から集まった地方議員との議論を通して確認、認識をする。 2 第1部 基調講演 当議会のサポーターでもある江藤教授による「議員の資質向上、なぜ必要、どんなことが可能？」と題する講演がなされた。議員の意識や資質が向上することで、議会が活性化し、地方議会の特徴である二元代表制が正しく機能することが、住民利益につながるということが示された。 第2部 ワールドカフェ方式で、みんなで、資質向上策について考える。 研修会参加者が7人ほどのグループになり、テーマに沿って議論を交わす。さらに、人員を交換し違ったメンバーでさらに議論を深める、といった作業を繰り返し最後に各テーブルの発表を行い意見をまとめていく手法が、ワールドカフェ方式である。 テーマとして、「今議会で起きている問題について」、「良い議員とは？」、「悪い議員とは？」などがあげられ、意見を出し合った。問題点については、ベテラン議員の影響力が強すぎるとか、なんでも自分の手柄にしてしまう人がいるとか、同じことを何度も言って時間を浪費しているとか、会派制度による弊害が多いなどさまざまな意見が聞かれた。良い議員悪い議員のテーマでは、住民からの意見を積極的に聴取し、だからと言って利害に走らず、自治体全体の利益を考え、広い知識を身に付けて行政と対峙するなどの議員像が示された。 第3部 まとめ 参加者から出された意見を基に、廣瀬教授によるまとめが行われた。

参加者によるフリートークの懇談会
参加者同士の意見交換の場としての懇談会に参加した。

- 4 今回の研修会で全国の地方議会議員と議員の資質について議論ができた。改めて議員が果たさなければならない役割や身に着けなければならない資質について再認識することができた。また、他自治体の議員との緊張感を持った議論がすなわち議員資質向上に役立ったのではないかと感じる。

参加者内で共有した良い議員像を目指して、努力しなければならない。